

令和2年度 みのりグループホーム 事業計画

事業所名	みのりグループホーム		
施設長・管理者名	施設長：児玉 和也（兼務）・管理者：河崎 光恵		
実施事業	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護		
開設年月日	平成14年1月1日		
所在地	鳥取県倉吉市福守町490-3		
正規職員数	2名		
準職員数	6名		
契約職員数	7名		
定員	18名	目標利用者数 17.6名/日	利用率 98%
職員配置	・管理者 1名 ・介護支援専門員 1名 ・介護職員 12名 ・介護補助員 1名 計15名		

1 基本方針

認知症になっても、地域の中であたりまえの暮らしができるように、ご利用者の個性を尊重し、家庭的な環境のもとで一人ひとりの力を引き出せるように支援します。また、ご利用者の心身の状況を把握し、医療機関との連携を図り適切な対応に努めます。地域の一員として、地域活動を通じ馴染みの関係を大切にします。

2 運営

(1) 「落ち着いて生活できる生活空間」を大切にします。

ご利用者様とスタッフが、家族として一緒に過ごす「みのりグループホーム」では、一人ひとりの慣れ親しんだ生活が守られるお部屋と生活空間を大切にします。

(2) 心に寄り添い、「私らしさ」を大切にします。

ご利用者様の心を自分の心として感じ寄り添いながら、せかさることなく、一人ひとりが生活の主体者として自由でのびのびとした自分らしい生活を送り、笑顔と笑い声の絶えない生活を目指します。

(3) 「地域の一員」として社会交流を大切にします。

地域の一員として活動をしたり、遊びに行ったり来たりできる馴染みの関係を大切にしながら、人と繋がり、触れ合う喜びを感じる生活を送ります。

(4) 「元気に長生き」を目指します。

心身の健康が図られるよう、医師との連携はもとより、四季を体で感じ、五感を最大限に使いながらできる力を活かした力強い生活を目指すとともに、ご利用者様主体の行事計画に基づき、楽しみと笑顔のある日々を提供します。

(5) 「日常生活援助」

① 認知症対応型共同生活介護に基づくサービス提供

ケアプランに基づいた適正な認知症対応型生活介護計画を作成し、ご利用者様及びご家族様の意向と状況把握に努め、全てのご利用者様がより良い生活を継続できるように計画作りとサービス提供の支援を行います。

3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

給湯器の移設工事 他 495千円

(2) 事業活動

① 蕎麦プロジェクト

蕎麦好きな人は長生きをされると言い伝えがあることから、ご利用者様と蕎麦の種を蒔き、ご家族様・地域の皆様と収穫した蕎麦を挽き打ち一緒に食べ一緒に味わうことで、喜びを共有します。また、収穫したそばを使い高城サロンでそば打ち道場を行い高城地区の方との交流を深めていきます。

② コスモスプロジェクト（花植え活動）

事業所の西側に花壇を作り、ご利用者様・社児童センターの児童達とコスモスの種を蒔き施設周辺を散歩される地域の方やご利用者様にコスモスや四季の景色を見て季節を感じていただきます。また、コスモスの花や種を高城公民館にお配りしていきます。

4 安全管理・衛生管理

- (1) 「気づき」の観察力を高めるため、ヒヤリ・ハットを実践することにより、リスクマネジメントとして分析し、事故防止に努めます。
- (2) 設備・備品等の安全管理を行い、物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンスを徹底すると共に環境整備に努めます。
- (3) 感染症予防に向け衛生管理と衛生教育の徹底を図ります
- (4) 協力指定病院医師（歯科も含む）と連携し、往診等で症状の早期発見に努め安心して過ごしていただくための生活の場を提供します。
- (5) 車両について使用前の日常点検などの安全管理に徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行います。
- (6) 職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じ安全教育を実施します。

5 防火・防災・救助活動

防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害に人命の安全、被害の軽減を図ります。

- (1) 防火管理者を中心に、入居ご利用様の実態に即した防災訓練（年2回）を行い、実施するとともに、防災活動への参加、地域防災情報の把握に努めます。
- (2) 有事に迅速な対応ができる環境整備を進めるとともに、スプリンクラーの等の点検、防災設備の点検を行い、ご利用者様の安全確保を行います。
- (3) また、消防署と連携して救命救急講習会を開催し、緊急時の対応ができるように努めます。

6 職員の資質の向上と研修

施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術向上を目指します。

(1) 外部研修への参加

- ① 認知症介護実践者研修・キャリアアップ研修等を通じ、モチベーションアップや自己研鑽を促します。
- ② 介護専門職研修を通じ、介護技術の習得を目指します。

(2) 法人内部研修への参加

法人内の研修は、研修内容に応じた職員が研修をし、施設の業務に生かします。

(3) 施設内の OJT・職場研修の実施

- ① 職員会議時には、年間計画に沿った施設内勉強会を行っていきます。また、身体拘束・高齢者虐待・権利擁護についての勉強会を行いご利用者様の尊厳の保持が図られるように努めます。
- ② 外部研修で学んだことを職員会議で伝達し、個々のスキルアップを目指します。
- ③ 実務経験の少ない職員については、知識・技能、経験の高い職員により実務を通じた研修を行ない、施設職員全体のレベルアップを図ります。

(4) 職員の資格取得のための取組み

法人が定めた「国家資格等取得者に対する助成要領」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格取得意欲の増進とキャリアアップを促します。

7 各種団体との連携と地域交流

ご利用者様とご家族様、地域住民、各種団体、保育園等との交流を積極的に取り入れ、地域に開かれたグループホーム作りを推進します。

学生、ボランティア等の体験学習の場となるよう積極的に受け入れを行います。

(1) 広報紙の発行・配布

発行回数：4回/季刊

配布先：倉吉市、地域包括支援センター、ご家族様、地元自治会など

(2) 地域交流行事

5月：家族交流会

8月：福祉の里夏まつり 高城サロン

9月：敬老祝賀会（地域住民さんによるボランティア）

10月：福守町・小鴨地区文化祭参加・社児童館交流会

11月：福祉の里文化祭・（地域住民さんによるボランティア）

みのりサングリーン・向山ブルースカイ合同作品展

12月：蕎麦打ち家族交流会・クリスマス会・忘年会・餅つき

1月：高城サロン

2月：節分

3月：ひな祭り

8 年間行事等

別のとおり